**【指示書】　ディベート：公道での歩きスマホを全面禁止すべき**

**＜コミュニケーションスキル研修のごあんない＞**

コミュニケーションスキル研修として、ディベートを行います。

【ディベートとは】

一定のテーマについて、賛否二つのグループに分かれて行われる討論のこと。

（小学館『〔精選版〕日本国語大辞典』より）

【研修のねらい】

・多角的なものの見方に触れ、自分の考えを深める。

【役割分担】

・肯定側、否定側の二つのグループ・・・研修担当スタッフが口頭でグループ分けを伝えます。

・審判（どちらの主張に説得力があったかを判定する）・・・研修担当スタッフが行います。

・司会、時間管理・・・研修担当スタッフが行います。

【ディベートのルール】

・主張は、「意見+根拠」の形で行います。

・主張は、第三者である審判を説得するために行います。

・批判や反論は、「主張」に対して行います。

・発表者を批判してはいけません。

【実施の流れ】

（１）事前準備として、各グループで指定されたテーマを掘り下げて論点を整理し、主張内容を決定する。（10分）

（２）肯定側、否定側の順に主張を述べる。（各３分）

（３）作戦タイム（５分）

相手の主張に対する質問内容の打ち合わせを行う。相手からの質問や反論を予想し、対応を考える。

（４）肯定側が質問し、否定側が答える。その逆も行う。（各５分）

（５）作戦タイム（５分）

討論をふまえて、自分たちの主張をまとめる。

（６）肯定側、否定側の順に最終的な主張を述べる。（各３分）

（７）審判は、より説得力があった主張はどちらかを判定する。（３分）

【配置】

司　会

肯定側

否定側

研修担当スタッフ：〇〇、〇〇、〇〇